

新生銀行 第12期定時株主総会 質疑応答要旨

2012年6月20日

質問者1

問① 監査役候補者が株を持っていないことの認識について。また候補者の選定基準について。

答 株保有の有無に関わらず、永田氏は深い見識を有するとともに、長年の勤続で組織の隅々まで熟知しており、監査役として適任と判断しました。株保有は個人の財産の問題ですが、今春より持株会に加入しています。

質問者2

問① 経費削減はしているが経費率は下がっていないことについての認識について。

答 経費削減は今後も努力してまいります。経費率の高止まりは収入減が主な原因であり、本業を伸ばすことで経費率の引き下げを図りたいと考えています。

質問者3

問① これまで従業員だった人の監査役としての適格性について。

答 他に社外監査役が2名、また取締役会も6名中社外取締役が4名であり、もと従業員であったことが監査業務に直接影響することはないと認識しています。監査役の責務はガバナンス上極めて重要であり遠慮なく思うところを指摘してくれるようお願いしています。

問② 海外業務への取り組み方針について。

答 海外もアジア・パシフィック地域はコアマーケットとして注力してまいります。地元銀行との業務提携による日本からの進出企業の支援や、当該地域における旺盛な資金ニーズへの対応などに積極的に取り組む方針です。

質問者4

問① 預金保険機構、整理回収機構の保有する株式の買い取り方針について。

答 公的資金の返済は、当行として全力で業務に取組み、その結果として、その元本を毀損しない水準以上に株価を上げることが唯一の解決方法と認識しています。

問② 上記大株主への配当金支払い状況について。

答 全株普通株式に転換しているため、配当金は1株あたり期末配当1円と、一般株主と同様です。

質問者5

問① 株主優待の導入を希望。

答 銀行は株主優待の手段が限られており、すぐには実現することは難しいと考えていますが、貴重なご意見として承りました。

問② 店舗の増設について。

答 徐々に増やしていきたいと考えていますが、コスト対効果を考えると大量の出店は難しいと思います。

質問者6

問① 1月10日のシステム障害の原因と責任、社内処分について。

答 原因は、データセンターを東京から大阪に移転した際に生じたシステム機器の接続の問題により、処理速度が遅くなったものです。IT委員会の委員に対し、懲戒処分を行いました。また、委員長の私とIT担当役員は減俸処分としました。現在現行システムの総点検を行うとともに、中長期的視点から今後のシステムのあり方について検討を開始しております。

問② ネットバンキングおよびコールセンターの受付処理が複雑すぎる点について。

答 セキュリティ上の問題があり、一方的に使い勝手の良さのみをよくすることは困難ですが、コストとの兼ね合いを見つつ、他社事例も参考に改善努力を続けていきたいと思っております。ご不便をお掛けした点は申し訳ありませんでした。

質問者7

問① 預金保険機構事前質問への回答は、棒読みのみでなくスライドに出すなど丁寧に対応して欲しい。

答 棒読みで解りにくい点は申し訳ございません。次回以降は解りやすくするよう画面の使用も含めて検討いたします。

問② 有人店舗の増設について、どのような形態のものをどういったところに増やすのか？

答 小規模の店舗を、大量に増やすというよりは、お客さまが便利だということに配置場所を変更することなどで充実を図りたいと思っております。

問③ 差別化に向け、もっとスピード感をもって取り組むべきである。

答 スピード感は当行の強みと考えていましたが、遅いということであれば更に仕事に対する態度を変えていかなければならないと思っております。

問④ 株主優待の導入について次回総会までに方針を明確にして欲しい。

答 貴重なご意見として承り、導入すべきかすべきでないのかも含め、少し時間をかけて検討したいと思います。

質問者8

問① 株主への還元は、株主全般に対して公平になされるよう、株主優待よりも株価や配当を上げることに専念して貰いたい。

答 貴重なご意見として承りました。

質問者9

問① 金融業務で将来的に一番伸びる事業は何か？

答 特定の分野がということではなく、社会の要請に応じて伸びていく産業分野のニーズに応え、応援していくことが銀行の使命と考えています。

質問者10

問① 個人の預金者を増やすための施策を研究して欲しい。

答 店舗網よりもネットバンキングを重視したサービスの延長線上での展開を検討していきたいと考えます。

問② 株主優待は、震災の寄付など複数の中からは株主が選択できるやり方を提案したい。

答 株主優待を実施するか否かをまず検討しますが、実施する場合の一つの有力な案として承りました。

問③ 新生銀行を応援したくなるような将来のビジョン・施策を伺いたい。

答 リスクを見極める力を磨いて、お金の必要な方のニーズに広く迅速に応える銀行になりたいと考えています。

質問者11

問① 当期利益 510 億円を達成しても増配はないのか？達成に自信がないから配当予想1円なのか？

答 業績下押しの要因は過去2年で処理したので、当期の利益達成には自信があります。但し、当面は業務拡大に向け自己資本を充実する必要もあり、あまり多くの配当を行うことは難しいと思います。

質問者12

問① 取締役一人一人に内部改善の努力や目標についての決意表明をいただきたい。

取締役全員の総意をもって私が答弁しており、個々の取締役の答弁はご容赦いただきたいと思いません。

以上